

4. 底質環境

(1) 有明海の底質

湾奥部及び中央部の東側の底質は主にシルト及び砂質シルトであって含泥率が高い。中央部の西側から湾口部にかけては砂質及び礫質であり、含泥率は低い(図 3.4.1)。有機物(強熱減量) COD、硫化物、T-Nの分布は粒度分布と対応しており、泥分の多い海域で高い値を示す(別添資料 10)。底質の中央粒径値について、1957年、1997年、2001年のデータを比較すると(図 3.4.2) 底質の泥化の傾向が認められる(ただし、各々の調査方法に違いがあることには留意が必要である)。

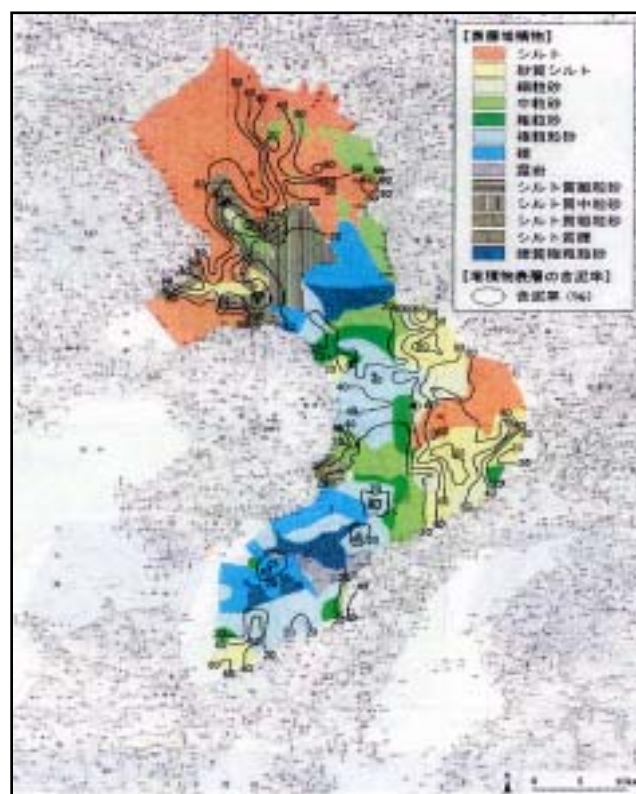


図 3.4.1 有明海の底質分布

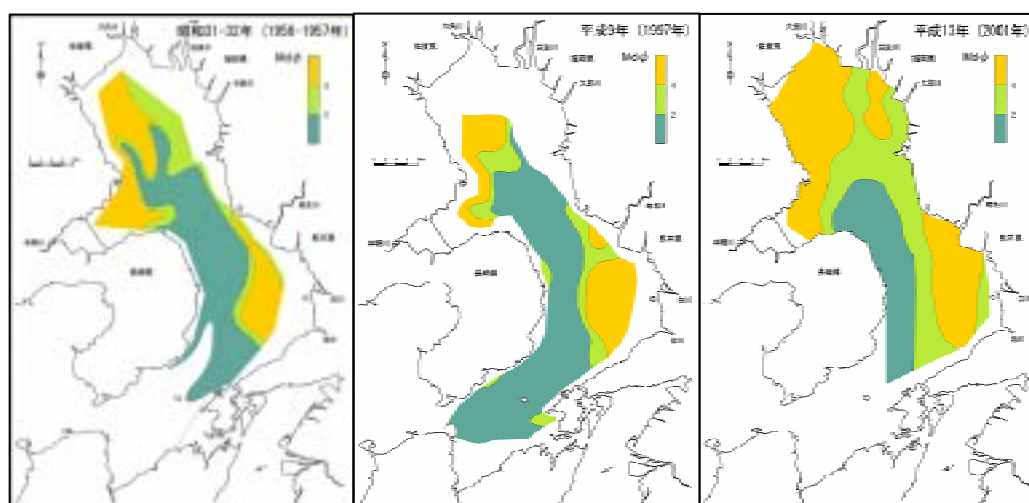


図 3.4.2 有明海の底質分布(中央粒径値)の変化